

長野県松本筑摩高等学校通信制課程 平成23年度自己評価表

I 教育目標

学校教育方針	中・長期目標
定通の和を尊び、理想の追求を象徴する校章と校歌に示された精神のもとに、 1、知性の涵養 2、品性の陶冶 3、心身の鍛練 を目的とする。	「心あらたな学び直し」 「限られた時間を活かしての学び」 「働きながらの学び」 を願う人々の要望に応える教育活動を展開すること。

通信制教育目標	中・長期目標
○ 「生きる力」の育成 ～自学自習を通して ○ 社会に対応できる学力 ～コミュニケーション能力 ○ 自己の可能性の再発見	①単位取得に向けた履修継続への支援 ②自己実現を図るための進路指導の充実

II 今年度重点目標に対する成果と今後の課題・改善策

評価値はA(十分)、B(おおむね十分)、C(やや不十分)、D(不十分)の4段階

評価の観点(到達目標)	評価	成果と今後の課題・改善策
① 単位修得率の向上		
② 添削指導の工夫・改善		
③ 補充スクーリングや個別指導の工夫		

III 今年度の成果と今後の課題・改善策

評価値はA(十分)、B(おおむね十分)、C(やや不十分)、D(不十分)の4段階

	評価項目(重点目標)	評価の観点(到達目標)	評価	成果と今後の課題・改善策
学習指導	1)教育課程 2)継続的な学習を促進する指導 3)面接の充実 4)シラバスの活用	1)生徒の実態に立脚して新学習指導要領に基づく教育課程表を作成し、その導入について検討する。 2)生徒の学習意欲を持続させ、計画的に学習をする指導ができたか。 3)レポートの提出数が増え、単位修得率が増加したか。 4)指導に生かすとともに生徒の役に立ったか。		
	1) e-ラーニングの研究	1) e-ラーニングに対する理解を深めることができたか 1)利用可能な教材研究が進んだか。		
	1)図書館利用度の向上	1)入館者数、貸し出し数は増加したか。 1)図書館の利用度を増すためにピーアールできたか。		
	生徒	1)安心して学習できる環境作り	1)集会・HRでの指導や、生徒個々へのその時の適切な指導で生活や授業のマナーを改善できたか。	

指導	2) 交通安全の徹底 3) 禁煙の徹底	1) 校内の巡視を徹底できたか。 1) 昨年度に引き続き、IDカードの携帯を徹底できたか。 2) 会誌や集会、HR等を利用して、注意を喚起し、交通マナーを向上させることができたか。 3) 集会、HRでの指導や、生徒個々へのその時の適切な指導を通じて、喫煙の害を自覚させ、喫煙をやめさせることができたか。		
	<相談支援> 1) 生徒、保護者の声を聴く	1) 生徒の課題を共有できたか。 1) クラス担任との連携ができたか。		
進路指導	1) 進路指導体制の確立 2) 進学・就職指導の充実	1) 情報の提供が充分できたか。 1) 進路希望調査や面接により、個々の進路希望を把握できたか。 2) 本人の希望・適性にそった指導ができたか。 2) 上級学校・事業所に対して通信制への理解の働きかけができたか。		
生徒活動	1) 地区活動の充実 2) 生徒会行事への積極的な参加	1) 魅力ある活動ができ、参加者の増加につながったか。 2) 生徒総会、運動会、文化祭、交流会での参加者が増加したか。		
	1) 清掃や美化活動への積極的な参加	1) 清掃への参加者が増加したか。 2) 美化活動の内容が充実していたか。		
研修	1) 定時制との連携に向けた研究 2) 他の通信制高校(県外を含めて)との連携・職員研修	1) 午前部・午後部・夜間部との連携について課題が明確になったか。 2) 全通研・中通研への取り組みが積極的にできたか。		
組織運営	<統計データ> 1) データの管理、活用	1) 生徒情報、校務に関するデータの整理ができたか。 1) 安全にかつ正確に管理できたか。		
	<視聴覚> 1) 学習補助の充実	1) 生徒が見易いように撮影に工夫を凝らすことができたか。 1) 放送視聴を有効活用させることができたか。		
	<情報> 1) 管理システムの活用	1) 管理システムを十分に活用し、正確な資料作成ができたか。		
	<保健> 1) より多くの生徒に対する健康管理	1) 生徒が一人でも多く定期健康診断を受けたか。		
	<施設> 1) 相談室の充実	1) 相談室の施設・設備の充実がなされたか。		
地域連携	1) 本校通信制について各方面への広報活動	1) HPや通信誌を通して、わかりやすい情報を発信できたか。 1) 生徒募集等に係り学校、保護者に適切な資料送付や説明ができたか。		
渉外	1) 教育振興会活動の活性化	1) 総会・理事会・評議員会等への積極的な参加を役員・保護者に呼びかけることができたか。		